

索道安全報告書

2013年

中部スノーアライアンス株式会社



ダイナランド

大日岳αライナーリフト

大日岳γライナーリフト

大日岳第4クワッドリフト

大日岳第1ペアリフト

大日岳から松ペアリフト

1. 利用者の皆様へ

当社の索道（リフト）事業に対して、日頃よりご利用並びにご理解を賜り、誠にありがとうございます。当社、中部スノーライアンス株式会社は、「安全の確保」をその企業行動指針の第一として掲げるマックアースグループの一員として、株式会社マックアースの運営方針に従い全ての役職員は行動しており、皆様に安心してマウンテン・レジャーを楽しんでいただけるよう、法令遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、安全輸送の取組みと実態について、広くご理解を頂くために公表するものであります。

中部スノーライアンス株式会社
代表取締役 一ノ本 達己

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、全員に周知、徹底しております。

- ① 一致協力して輸送の安全確保に努めること。
- ② 輸送の安全に関する法令及びこれに関連する規程（本規程を含む）をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをすること。
- ⑤ 事故、災害が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとること。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

(2) 安全目標

索道運転事故件数ゼロ件を目標とします。

引き続き職員一致団結して目標に向けて安全輸送に取り組む所存です。

3. 事故等の発生状況とその再発防止処置

(1) 索道運転事故（索道人身障害事故）

平成25年2月5日 大日岳第1ペアリフト山麓停留場内において、搬器が旅客に衝突する事故が発生し2名の方が軽傷を負われました。被害者の方には深くお詫び申し上げます。

事故発生原因は、係員が立入禁止区域ロープの張り直し作業をしていたところ、搬器がロープに引っ掛かり大きく揺れたことであり、再発防止のため社内で再度 取り扱い ならびに安全に対する周知を図りました。

(2) 災害（地震、風害、豪雪など）

一時的な強風や大雪のため運行開始が遅れたり、一部のリフトについて運行を停止いたしました。

(3) インシデント（事故の兆候）

平成 24 年度、インシデントの発生はありません。

(4) 行政指導

平成 24 年度、監督官庁からの行政指導等はありません。

4. 安全輸送のための取組

(1) 人材教育

① 各種索道研修会等の参加

- ・ 日本ケーブル(株) テクニカルセミナー参加 (3日間) 3名
- ・ 美濃地区索道協会奥美濃支部会（シーズンの反省） (1日間) 2名
- ・ 美濃地区索道協会技術講習会 (1日間) 5名
- ・ 美濃地区索道協会雪上車両運転取扱い講習会 (1日間) 10名
- ・ 中部運輸局索道技術管理者研修会 (2日間) 2名

② 社内研修の実施

平成 24 年 7 月 13 日 夏季シーズン、平成 24 年 12 月 6 日 冬季シーズンの索道スタッフを対象とした索道研修会を実施いたしました。その他、各索道現場にて随時、安全に関する教育及び運転の取扱いに関する教育を行いました。

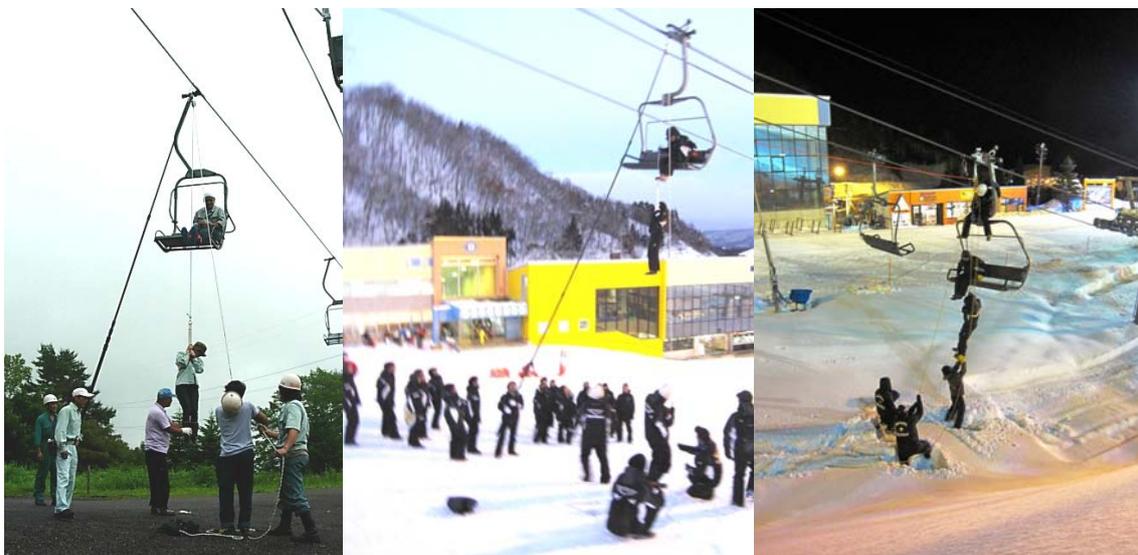
(2) 緊急時対応訓練

シーズン営業開始前及び営業期間中、緊急時を想定した救助訓練を実施しています。

夏季ゆり園救助訓練

冬季救助訓練

冬季高所救助訓練



(3) 安全のための投資と支出

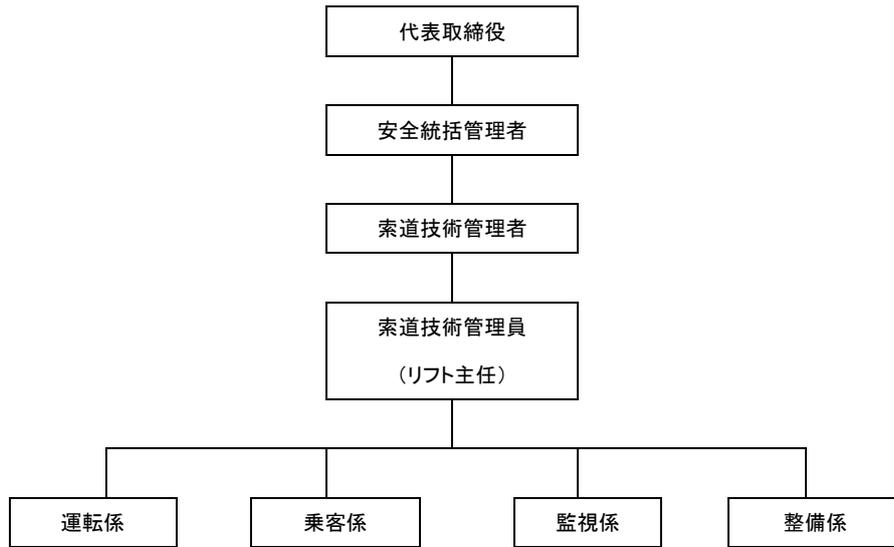
安全の維持及び向上のため、下記の表の通り修繕工事を実施いたしました。

大日岳αライナーリフト	握索機点検整備（全数） 押送装置点検・ベアリング交換（原動） 索受け整備（13・16・17・20・22号支柱）
大日岳γライナーリフト	握索機点検整備（全数） 索受け整備（15号支柱） 押送装置点検・ベアリング交換（原動・折返） 押送電磁クラッチ整備・ベアリング交換（原動）
大日岳第4クワッドリフト	握索機点検整備（全数） 駆動チェーン更新（原動・折返） 押送チェーン sprocket 軸ベアリング交換・ベルト交換 従動プーリー ベアリング交換 原動機タコジェネレーター更新 索受け整備（2・5・6・7・8・9・11・12 15・16・18・20・21号支柱）
大日岳第1ペアリフト	握索機分解点検（抜打ち12台） 索受け整備（2・3・4・5・6・7・9・10号支柱） 制動機ユニット更新
大日岳から松ペアリフト	減速機OH 索受け整備（3・4・5・6・7号支柱）

この他、各リフトにおきまして全索受装置、場内装置等の給油、各減速機、油圧装置のオイル交換等を行っています。

5. 当社の安全管理体制

代表取締役をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしております。また各現場にて業務報告書を通じ、ヒヤリ・ハットや反省、気付き、改善提案等を索道技術管理員へ報告し日々の業務に反映させております。



代表取締役	輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守管理、その他技術上の事項に関する業務を統括管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の業務を補助する。

